

豊平公園緑のセンターの建替について
説明会が開催されました。

札幌市では現在、豊平公園緑のセンターの建替を検討しています。11月30日にその内容を説明する会を開催し、たくさんのご意見をいただきました。
当日の様子を紹介します。

発行年月日：平成25年12月16日
発行者：札幌市環境局みどりの推進部
みどりの管理課
住所：〒060-0051
札幌市中央区南1条東1丁目
大通バスセンタービル1号館6階
問合せ先：電話：011-211-2536
FAX：011-211-2523

1. 建替検討の経緯

豊平公園緑のセンターは建設から30年以上経過しており、
随時補修を行ってきましたが、

- 施設の激しい老朽化
- 緑のセンターに期待される役割の変化
- バリアフリーへの対応

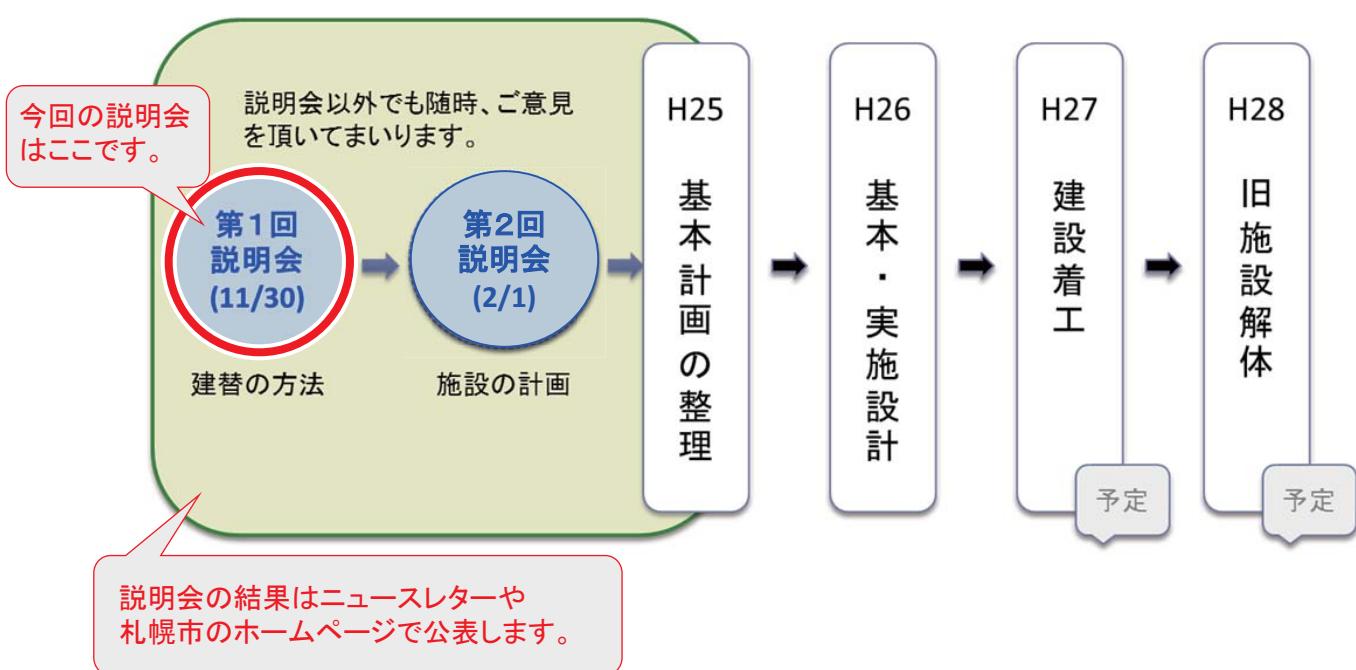
など、抜本的な対応が早急に求められています。

このため札幌市では、**センター施設の建替**を検討しています。
説明会で建替検討の経過をお伝えするほか、説明会以外でも
ご意見を隨時いただき、施設検討に反映させて参ります。



2. 建替検討のすすめ方

本年度に**2回の説明会**を実施し、建築計画を取りまとめる予定です。

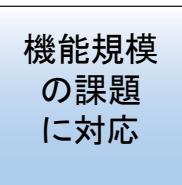


3. 建替の必要性

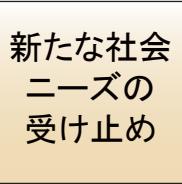
センター施設が深刻な老朽化をしており、機能面で課題があるほか、新たな社会ニーズを受け止めていく必要があります。



- 築30余年を経過(鉄骨造)
- 平成24年の耐震診断で「倒壊の恐れ」
- 主体構造の劣化のため抜本的な対応が必要



- 「狭さ」「使い勝手」への対応
- バリアフリー化、快適性の確保
- 環境負荷の低減 など



- 都市緑化植物園の機能拡充
- 多様な活動主体を支援する機能の新設
- 新たな緑化技術の普及機能の新設 など



老朽化の様子



説明会にご参加の皆さんから
ご理解をいただきました。

4. 建替の考え方について

建替にあたっては現在の課題を解消するとともに、情報提供や技術紹介を強化し、市民活動の拠点づくり・バリアフリー化・公園環境に配慮した計画とします。

建替の基本的な考え方

施設整備の考え方①

現在の利用状況、利用や管理上の課題、期待される機能などを踏まえ、これからの緑のセンターにふさわしい施設構成とします。



説明会会場の様子

施設整備の考え方②

「都市緑化植物園」として新たな社会ニーズを受け止め、都市緑化に係わる市民活動の拠点づくりを図るほか、情報提供や技術紹介など専門性を強化します。

ご意見:新たに検討しているボランティアルームは
どのような人たちが活用するのか?

市回答:現在、園内で活動してるハーブの会などのボランティアの方たちのほか、**全市的に活動している緑化ボランティアの皆さん**の活動拠点として検討していきます。

施設整備の考え方③

使いやすさやバリアフリー(段差の解消など)、公園環境に配慮し、環境負荷の少ない施設を検討します。

ご意見:高齢者などへの対応は?

市回答:高齢者を含め、全般的に**「人に優しい」施設づくり**を進めています。

ご意見:太陽光など**自然エネルギー**を活用しては?

市回答:省エネを含め、自然エネルギーの活用を**積極的に検討**します。

5. 建替場所の検討

建替場所の検討を行い、地下鉄豊平公園駅出口の近くに移設建替を提案しました。

建替場所選定の考え方

建替場所は下記に留意しながら、現地建替（A）と移転建替（B）を検討しました。

1
自然環境や既存施設への影響を軽減

2
センター機能を継続しながら建設

3
事業費の経済性を考慮



建替場所の検討-案の比較

比較検討の結果、地下鉄駅に近いスキー山の場所を移転先としました。

A 現地案

センターを解体し現地で建替



- 樹木への影響がやや低い
- 今ある基盤やアクセスを継承
- ✗ 仮設の代替施設、用地が必要
- ✗ 一時移転の経費、労力増
- △別棟間のケヤキ木立に支障の恐れ
- △地下鉄からのアクセス性は低い

B 南側案

豊平公園駅
出口近くのスキー山で建替

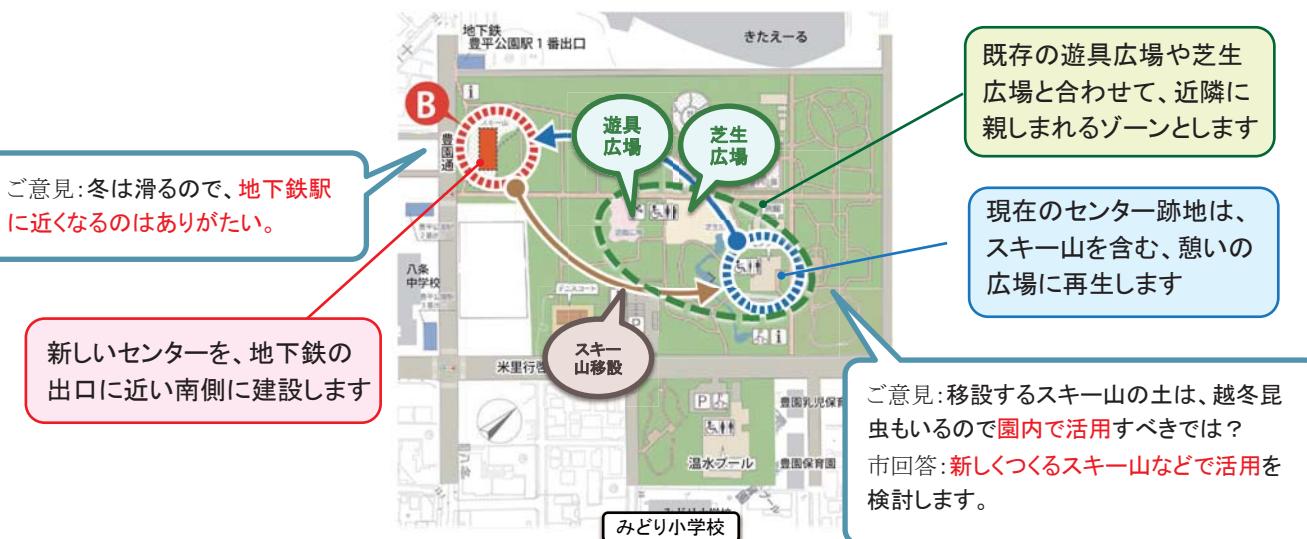


南側案
を選択

- 樹木への影響が低い（スキー山は移設）
- 地下鉄駅からのアクセス性が向上
- センターを運営しながら建設が可能
- 外に開かれた施設形成が可能
- △スキー山の移設が必要
- △園場等の移設や連携が必要

センター跡地の再生

現在のセンター跡地は、スキー山を含む園地整備を行い再生します。



6. 施設構成と規模

機能の拡充、新たな機能導入の方向は下記の通りです。

施設の主要機能	現行規模(m ²)	新規規模(m ²)	備考
エントランス・ロビー機能	68m ²	100m ²	多機能ロビーテラスとして拡充
温室機能	184m ²	190m ²	同規模程度
緑の相談・図書機能	48m ²	50m ²	同規模程度
展示室機能	91m ²	120m ²	手狭なため拡充
講義室機能(別館、収納含む)	250m ²	250m ²	最大120人規模で、小割可能に
事務・管理・倉庫機能	122m ²	200m ²	教室や展示のための収納を拡充
ボランティアルーム機能		30m ²	新設。市民活動の拠点づくり。
合 計 (売店、トイレ、廊下、機械室を除く)	763m ²	940m ²	約1.2倍に拡充

ご意見:自動販売機や売店の設置、軽食サービスがあると便利だが?

市回答:他施設ではコーヒーサービスがある例もあり、利用者サービス面の検討をすすめます。

ご意見:町内会や夜間の利用ができるように検討して欲しい。

市回答:札幌市の条例や運営体制を踏まえ、使い勝手を考慮した運用方法を検討します。

ご意見:ボランティアルームの規模が狭くはないか?

市回答:規模については活用方法を踏まえて検討し、次回具体的にお示しします。

7. その他の留意点

そのほか、建築計画の検討にあたっては下記の事項に配慮して進めます。

その他の検討要素

- ロビーは休憩・展示、市民活動の場として活用できるよう工夫
- 緑のカーテン、壁面や屋上緑化を建築に取り込む
- 育苗圃場は建物と一体的に整備を検討
- バリアフリー、環境負荷の低減に留意
- 外に開かれた、立ち寄りやすい施設を考慮 等々



ご意見:機能重視だけで、緑と無縁な無機質な建物にして欲しくない。

市回答:自然との調和を踏まえ、次回説明会でご提案します。

ご意見:現施設の2階休憩スペースから小鳥が見えるのが気に入っている。新たな施設ではどうなるか?

市回答:新しい施設から見える公園風景には配慮した計画を進めます。

ご意見:災害時の避難場所として、その機能を考慮して検討すべきでは?

市回答:全市的な防災計画に基づいて検討します。

ご参加をいただいた皆様、
ご意見ありがとうございました！

緑のセンター入口に「ご意見箱」を設置していますので、
ご意見をお寄せください！
ファックスの受付もしております（表紙右上の発行元をご覧下さい）。

次回は 2月1日（土）午前10時から
緑のセンター別館講義室で具体的な建築計画案の説明を行います。

*12/27（金）まで
にお寄せください。